

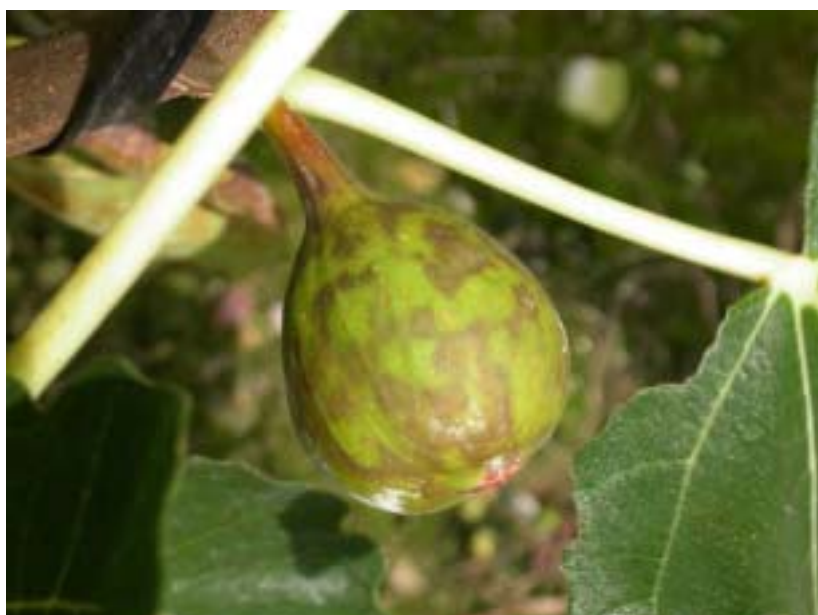
イチジク疫病 *White powdery rot*



新梢が暗緑色から黒色に変色し、新芽も黒くなり枯死



樹上で連続して果実が発病



果面に暗緑色または暗紫色の水浸状の斑点



ややくぼんだ暗緑色の水浸状病斑



実が赤紫色に変色し、くぼむことにより変形



果面に広がった白色粉状のかび(遊走子のう)

注) 遊走子のうとは、水中遊泳性の胞子(遊走子)を生じる細胞のこと



茶色に変色し白色粉状のかびが広がっている腐敗果



多発した腐敗果



果実全面にかびが広がりミイラ状



洋ナシ形で乳状突起を有する遊走子のう

イチジク株枯病 *Ceratocystis canker*



(左) 葉の黄化・落葉が始まった萎凋症状の初期
(右) 黒色髪毛状に突出した子のう殻頸部



(左) イチジク枝上に形成された子のう殻頸部
(右下) 子のう胞子
(左下) 子のう殻頸部から噴出した淡黄色塊状粘着質の子のう胞子



イチジク黒かび病 *Rhizopus rot*



成熟期に発生し、果実のみを侵す



暗褐色、水浸状の病斑から軟化腐敗



病斑部に白色のかびが生え、その後にかびは黒変

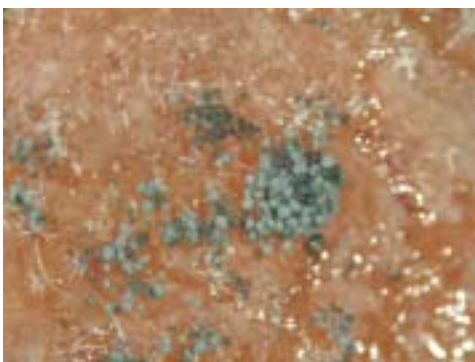


黒変部分に多量の胞子のうの胞子を形成



その後は、黒色のかびを密生しミイラ化

注) 胞子のうは胞子のう胞子を内蔵する球状に膨大した器官



(左上)
胞子のうは暗褐色から黒色
(左下)
胞子のうは球形で胞子のう胞子を内蔵
(右)
胞子のうと飛散した胞子のう胞子(小型球形)

イチジク酵母腐敗病

Souring



(左上、中)

初期病徴は開口部付近の変色(赤色)が特徴



開口部から果汁が漏出し(右上)、本病を媒介するショウジョウバエ類が多く飛来(右下)



(左下)

果実内部が空洞化し、果皮に菌糸や胞子を形成しない



果汁の漏出とともに白色水泡



白色水泡がみられ、発酵臭が伴う



果皮には菌糸を生ぜず、果肉の水浸腐敗のみ進行し、果汁の漏出後に乾固しミイラ果



初期病徴や乾固が混じる、
多発状況。



可食部のみ水浸状に腐敗

(下左)果実の漏出液中の酵母

(右上)果実の開口部に産卵
されたキイロショウジョウバエ
の卵(矢印)

(右下)キイロショウジョウバエ
の卵と孵化した幼虫



イチジクさび病 *Rust*



多発により病葉が落葉した秋期の状況



(左) 病勢が進展している葉表面



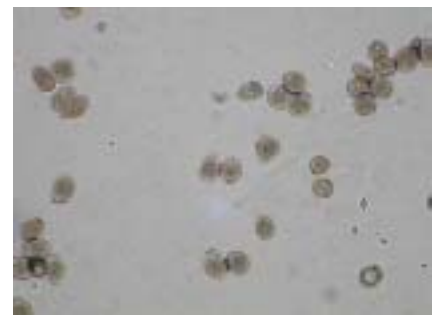
(右) 下位葉は落葉し果実のみを残し、上位葉も病班を多数形成



(左) 裏面に形成された病班



(中) 裏面病班の胞子形成状況



(右) さび病菌の胞子

イチジク炭疽病 *Anthracnose*



果面に円形でややへこんだ
小病斑

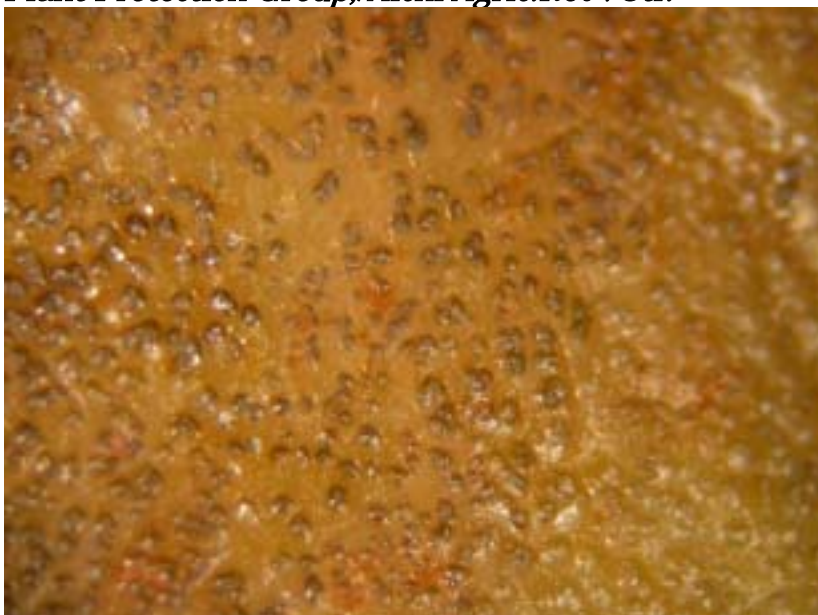


病斑状に黒色の小粒点(分
生子層)

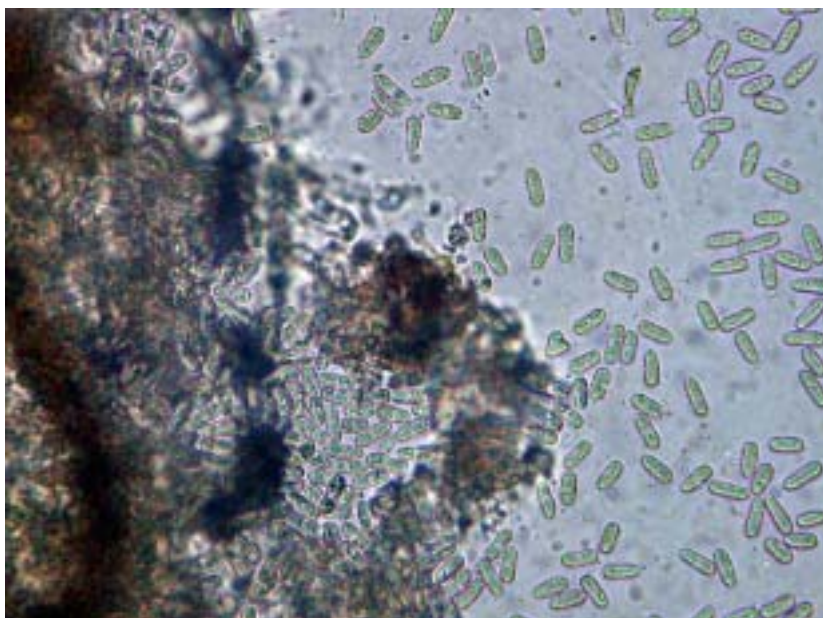
注)分生子層とは分生子(か
びの胞子)を生ずる分生子果
のうち浅い皿状で基質(植
物)の表層部にわずかに入り
込んでいるもののこと



鮭肉色の粘着物を分泌



病斑状の小粒点(分生子層)の拡大図



分生子層から飛び出る分生子



分生子層に形成された剛毛

汚損果



開口部に形成されたカビの
胞子塊



開口部の拡大図(かびの胞
子塊が形成)



開口部のカビの胞子形成状
況

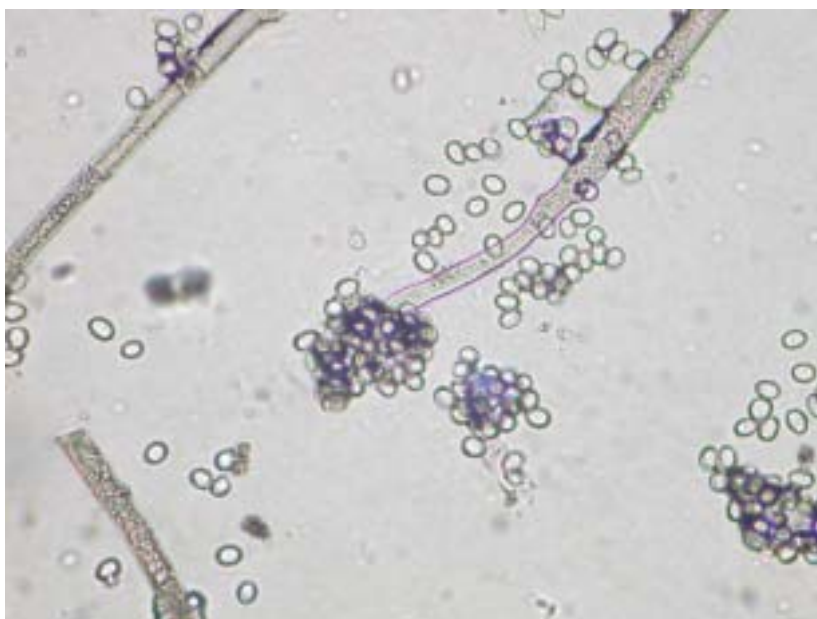


開口部に形成された *Alternaria* 属菌などの胞子

イチジク灰色かび病 *Gray mold*



果実開口部付近の赤褐色水浸状の病斑とその表面形成された灰色の胞子



分生子(かびの胞子)と分生子柄